



?? 図工の時間って何をする時間??

新学年が始まって、最初の図工の時間のことです。教室の子どもたちに対して、

「図工の時間って**何をする**時間ですか？」

こんな質問をしてみますと“図工”という教科名と、子どもたち自身のこれまでの経験から

「絵をかく時間です！」
「何かを作る時間です！ 工作をしました！」

といった答えがすぐに返ってきます。そして、もう一つの大切な学習活動…、「あっ、作品とかを**“みる”**時間！」と、ひらめいた表情で答えてくれます。

大人になると… 絵をかく、立体作品をつくる、工作をする…といったような図画工作科でいう**表現の活動**の機会は少なくなるのではないのでしょうか。しかし**鑑賞の活動**はどうでしょう。街中のポスター、商品のパッケージ、昨日の夕焼け、あの喫茶店の雰囲気…時には美術館に行ってみようかな…とあらゆる場所や場面で、形や色などを“みて（見て・観て）”感じて、そしてそれを生活に取り入れているのではないのでしょうか。

図工の“みる”時間 = 鑑賞の活動

図画工作科の学習活動は、表現及び鑑賞の活動です。子どもたちが感じたことや想像したことなどを造形的に表す表現活動と、作品などからそのよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める鑑賞の二つの活動によって行われます。この表現と鑑賞は独立して働くものではなく、互いに働きかけたり働きかけられたりしながら、一体的に補い合って高まっていきます。

お子さんの“観る”角度や、“気付く”ポイントに**「なるほど！」** **「それいいね！」**と共感してみてください。

アートバス

保護者用 たんけんたい

今回の図工の家庭学習は、鑑賞の取組です。絵もかきませんし、工作もしません。身の回りにある形や色などの面白さや楽しさ、よさに気付くことをねらっていますが、こういった経験が、何かを描いたり、つくったりするときの土台にもなります。

今回はアートバスカードという資料を使って、お家の中を探検してもらいます。詳しくは右側に記載しましたが、もしかすると、この家庭学習を通して新築の際やリフォーム、部屋の模様替えの際などに、お家の方がこだわった壁紙や床材、家具・家電などのデザインや材質などにお子さんが気付くかもしれませんし、その時のことを思い出されるかもしれません。

用意するもの (お子さんが用意できたかご確認をお願いします)

- アートバス カード
- アートバス ワークシート
- 色鉛筆 など
- 鉛筆・消しゴム

1. 「アートバス」を見てみよう。

穴の開いた「アートバス」は、そこから見えるものが、“バスのデザイン”になっている...という設定で作成しています。普段、何気なく目にしている形や色も、このカードを通してみると、クローズアップされて目にうつります。お子さんと「どんなデザインのバスが生まれるか」楽しみながら取り組んでください。きっと、お子さんならではの視点があると思います。その時には、「なるほど!」「よく見つけたね!」「それは、気が付かなかったよ!」などと声をかけてください。一人で取り組めるようになったら、安全面、行ってはいけない場所などの約束事をしてから、「すごいの見つけたら教えてね」などと、あたたかく見守ってください。きっと、すてきな報告があると思います。

2. ワークシートを つかって はなそう。

今回の活動の大きなねらいは、**身近な形や色に気付くこと**です。この活動をたっぷりと楽しんで、それをお家の人にお話する...そのことを大切にしてください。ワークシートには、3つのミッションを載せました。アートバス体験をたっぷりと楽しんでからこの3つに取り組んでいただければと思います。それぞれのねらいは、形・色・イメージに気付くこと...になっています。お子さんが、それぞれのミッションを達成したら、話を聞いていただきたく思います。

1と同じように、たくさんほめてあげてください。「できたよマーク」は、きれいに塗ることが目的ではないので、はみ出してもあまり気にしなくて良いです。それよりも、その色を選んだ理由や塗り方にこだわりがあるかもしれません(もちろん、なくてもOKです)。そして、「楽しかったね!」と笑顔で締めくくっていただければと思います。